

【専門教育科目/看護研究】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護研究 I		NSP35_001	必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎		302	s.mochizuki	水曜日 12:30～14:00		
授業の目的・概要	看護を探究する姿勢は研究につながる。看護の質の向上・発展に研究は欠かすことができない。本科目では、看護における研究の目的や必要性・倫理的配慮、文献クリティーク、研究のプロセス、研究計画書の作成の仕方など、看護的研究に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。					
授業形式・方法	☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☒演習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他 () ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☒ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク					
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。					
教科書	かんたん看護研究(改訂第2版): さがす・つくる・仕上げる /編: 桂 敏樹 /南江堂 /2020					
参考書	適宜紹介する。					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	看護研究の必要性とその役割等について説明できる。				HSU(2),NS(1)	
②	看護研究の一連のプロセスを説明することができる。				HSU(2),NS(2)	
③	研究デザインの種類・特徴について説明できる。				HSU(2),NS(3)	
④	研究を進める際の倫理的配慮について説明できる。				HSU(1),NS(1)	
⑤	文献の精読を通じ、クリティークの方法が養われる。				HSU(2),NS(4)	
⑥	主体性を持って取り組むことができる。				HSU(5),NS(5)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護研究の必要性とその役割を学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
2	研究が看護実践の中でどう活かされているかを学ぶ。		講義	これまでの実習経験を振り返る。		4
3	看護研究過程の概観と研究倫理について学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
4	文献検索について学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
5	研究デザイン① 量的研究・質的研究の特徴を知る。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
6	研究デザイン② 研究の種類と特徴を知る。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
7	研究のテーマ・背景・目的の基本的な書き方、概念枠組みについて学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
8	研究方法（データの収集・分析）について学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
9	結果・考察の書き方と発表の方法について学ぶ。		講義	教科書の該当箇所を予復習すること。		4
10	研究論文の評価（クリティーク）方法の実際を学ぶ。		講義	各自検索した文献を見ながら講義内容を復習すること。		4
11	研究論文クリティーク演習① 研究論文のクリティークについて学ぶ。		講義・演習	予習：クリティークする文献を読むでくる。		4
12	研究論文クリティーク演習② 研究論文のクリティークについて学ぶ。		講義・演習	復習：クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。		4
13	研究論文クリティーク演習③ 研究論文のクリティークについて学ぶ。		講義・演習	復習：クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。		4
14	研究論文クリティーク演習④ 研究論文のクリティークについて学ぶ。		講義・演習	復習：クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。		4
15	研究論文クリティーク演習⑤ 研究論文のクリティークについて学ぶ。		講義・演習	これまでの学習課題を振り返り内省する。		4
試	試験・課題レポートの記述					

【専門教育科目/看護研究】

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義・演習の中で学んだ内容を評価する。選択式の試験問題とする。			担当教員が評価し、必要に応じ学生にフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		演習に積極的に取り組み、課題に適切に対応できる社会人基礎力を養うため、他者の発言をよく聞き積極的に発言すること。 毎回の発言回数及び発言内容を評価する。また、授業の出欠席も評価する。			授業時間内でフィードバックしていく。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		行政保健師として8年間の勤務経験を有する。					
実践的授業の内容		担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。					
そ の 他		・ 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 ・ 学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。					